

# 平成21年度日本語教育機関学生生活実態調査

## 概要

平成22年3月

財団法人日本語教育振興協会

# 「平成21年度日本語教育機関学生生活実態調査」

## 概要

財団法人日本語教育振興協会は、日本語教育機関の審査・認定事業を始め、日本語教育機関要覧等の作成・配布及び教職員に対する研究会・研修会の開催等、日本語教育機関の質的向上を図るために各種の事業を実施している。

我が国の日本語教育機関に在籍している学生（就学生・留学生）数は、平成21年7月1日現在 42,651 人である。

協会では、平成21年11月に日本語教育機関に在籍する学生の約9%に当たる、3,750 人を対象に生活実態調査を実施した。

その結果の概要は、以下のとおりである。

なお、この調査は隔年ごとに行うこととしており、前回の生活実態調査は、平成19年11月に実施した。

## 目 次

「平成 21 年度日本語教育機関学生生活実態調査」結果の要点 .....	1
I. 調査の目的と方法 .....	4
1. 調査目的 .....	4
2. 調査対象 .....	4
3. 調査方法 .....	4
4. 調査対象人数 .....	4
5. 調査実施時期 .....	4
6. 前回の調査 .....	4
II. 調査結果 .....	5
1. アンケートの回答状況 [第 1～第 3 表] .....	5
2. 現在通っている学校 [第 4 及び第 5 表] .....	6
3. 来日前の日本語の勉学状況及び卒業後の進路 [第 6～第 9 表] .....	6
4. 住居 [第 10～第 13 表] .....	7
5. 収入・支出 [第 14 及び第 15 表] .....	9
6. アルバイト [第 16～第 20 表] .....	11
7. 授業以外の勉強時間及び睡眠時間 [第 21 及び第 22 表] .....	12
8. 健康 [第 23～第 25 表] .....	13
付属資料「日本語教育機関学生の生活の実態に関する調査票」	

# 「平成21年度日本語教育機関学生生活実態調査」

## 結果の要点

財団法人日本語教育振興協会が平成21年11月に全国の日本語教育機関に在籍する学生（就学生・留学生）を対象に実施した「生活実態調査」の結果がまとまった。

【調査対象者 3,750人、回答者 3,452人、回答率 92.1%（前回 88.9%、前回調査は平成19年11月）】

（注）各項目における構成比（%）は、表示桁未満を四捨五入してあるため、合計が必ずしも100%となっていない。

### 1.現在通っている学校

- （1） 3,452人をコース別に見ると、2,606人（75.4%・前回 75.6%）が進学コースを、777人（22.4%・前回 22.7%）が一般コースを選んでおり、修業期間別では、進学コースに在籍する者のうち、「1年」が318人（12.2%・前回 13.1%）、「1年6か月」が763人（29.3%・前回 29.8%）、「2年」が1,206人（46.3%・前回 46.6%）、一般コースに在籍する者のうち、「1年」が245人（31.5%・前回 36.9%）、「1年6か月」が208人（26.8%・前回 19.0%）、「2年」が253人（32.6%・前回 33.3%）となっている。
- （2） 年齢別では、「20～24歳」2,214人（64.1%・前回 58.7%）、「25～29歳」が831人（24.1%・前回 29.1%）、「18～19歳」が241人（7.0%・前回 6.6%）となっており、平均年齢は、23.2歳（前回 23.5歳）となっている。
- （3） 学校の認知方法で最も多かったのは、「在日の親族・知人等の紹介」の921人（26.7%・前回 29.6%）で、次いで「就学生派遣センター・留学院等の紹介」490人（14.2%・前回 18.7%）、「インターネットで」の450人（13.0%・前回 - %）、「出身校の教師・先輩等の紹介」の372人（10.8%・前回 11.0%）及び「通学校の卒業生等の紹介」の346人（10.0%・前回 11.5%）の順になっている。

### 2.来日前の日本語の勉強状況及び卒業後の進路

- （1） 来日前に日本語の勉強をした者（複数回答）は、2,900人（87.0%・前回 80.9%）であった。勉強方法（複数回答）として最も多いのは、「母国の日本語学校」の1,703人（49.3%・前回 47.9%）で、次いで「大学等」の639人（18.5%・前回 16.2%）、「高等学校等」の302人（8.7%・前回 9.5%）、「その他」の355人（10.3%・前回 10.3%）の順になっている。
- （2） 日本語教育機関卒業後の希望進路で最も多かったのは、大学などへの進学希望で3,004人（87.0%・前回 84.0%）次いで「母国に帰る」の310人（9.0%・前回 12.5%）、「その他」の131人（3.8%・前回 3.2%）であった。進学を希望する者の希望進学先を見ると、日本の大学に進学が1,668人（48.3%・前回 45.2%）大学院に進学が523人（15.2%・前回 10.7%）専門学校に進学が676人（19.6%・前回 23.7%）短期大学に進学が25人（0.7%・前回 0.8%）などとなっている。

### 3.住居

- (1) 4割の1,381人(40.0%・前回42.2%)が東京に居住しており、地区別に見ても、約6割近くの1,959人(56.7%・前回58.8%)が東京を中心とする関東地区に集中している。
- (2) 住居の種類については、2,152人(62.3%・前回62.3%)が民間アパート・マンション等に居住しており、以下、学校の寄宿舍・寮の763人(22.1%・前回21.4%)、友人・知人宅の218人(6.3%・前回7.7%)の順になっている。
- (3) 家賃の平均月額は38,510円(前回37,315円)で、入居時に必要な家賃以外の経費(敷金、礼金)は、1か月の家賃の約2.1倍(79,657円・前回は2.4倍の89,257円)であった。
- (4) 部屋の広さについては、一人当たり専有面積が、10㎡(6畳1部屋程度)未満の者が1,906人(55.2%・前回57.3%)である。うち、7.5~10㎡未満が985人(28.5%・前回30.7%)、5~7.5㎡未満が628人(18.2%・前回18.4%)となっている。

### 4.収入・支出

- (1) 奨学金を含めた1か月の平均収入金額は、131,006円(前回134,713円)となっている。
- (2) 収入の主体は、「アルバイト」82,937円(前回87,198円)、「親族からの仕送り」89,128円(前回82,423円)及び「知人の援助」66,969円(前回62,453円)となっている。
- (3) 1か月平均支出金額は、126,274円(前回130,774円)となっている。
- (4) 支出の内訳は、「学習費(授業料を含む)」69,738円(前回65,864円)、「住居費」37,388円(前回37,315円)、「食費」24,873円(前回26,036円)、「雑費」11,353円(前回13,992円)、「趣味・娯楽費」10,422円(前回10,968円)、「通学費」9,772円(前回9,745円)、「光熱水費」7,135円(前回7,580円)などとなっている。
- (5) 支出を地域別に見ると東京(145,455円・前回148,162円)を中心とした関東地区が140,635円(前回144,980円)となっている。  
特に、東京の住居費46,641円(前回45,631円)は中国地区の住居費19,660円(前回23,900円)の約2.4倍となっている。

### 5.奨学金

奨学金を受けているものは、672人(19.5%・前回15.6%)で、前回より3.9ポイント上昇した。

### 6.アルバイト

- (1) アルバイトには、2,447人(70.9%・前回73.4%)が従事している。
- (2) 従事時間は、週平均時間15.1時間(前回15.4時間)、1日平均2時間強となっている。
- (3) 時給は全体平均で897円(前回928円)となっている。

(4) 職種は、飲食業が 1,462 人 (59.7%・前回 66.1%) と圧倒的に多い。次いで営業・販売の 351 人 (14.3%・前回 11.2%)、配達・配送作業の 137 人 (5.6%・前回 4.0%)、工場組立作業の 117 人 (4.8%・前回 5.2%)、ビル清掃・管理の 102 人 (4.2%・前回 2.4%) の順になっている。

## 7.授業以外の勉強時間及び睡眠時間

授業以外の勉強時間は、「1～2 時間未満」が最も多く、1,472 人 (42.6%・前回 41.6%)、1 日平均の勉強時間は 2.0 時間 (前回 2.2 時間) で、睡眠時間は、1 日「6～7 時間未満」(36.1%・前回 37.7%) が最も多い。平均の睡眠時間は 6.4 時間 (前回 7.1 時間) となっている。

## 8.健康

来日してから病気や怪我の経験がある者は、2,296 人 (66.5%・前回 72.2%) である。主な処置方法は、「薬局で薬を買って治した」が 1,018 人 (29.5%・前回 31.5%)、「病院に通った」が 914 人 (26.5%・前回 31.0%) となっている。

# 調査の目的と方法

## 1.調査目的

この調査は、当協会が認定している日本語教育機関に在籍する学生の「居住環境」、「学費、生活費等の経済環境」、「卒業後の進路」等について調査し、多くの学生の生活実態の一端を明らかにし、関係各方面の理解を得るための基礎資料を得ることを目的としている。

## 2.調査対象

当協会が認定した日本語教育機関に在籍し（平成 21 年 10 月 1 日現在）、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格「就学」又は、「留学」を有する者のうち約 9%にあたる、8,750 人を対象とした。

## 3.調査方法

- (1) 調査票の配布部数は、各日本語教育機関における平成 21 年 7 月 1 日現在の実態調査結果の在籍者数（42,651 人）を参考にして割り当てている。
- (2) 日本語教育機関においては、原則として、在籍 6 か月以上の外国人学生の中から出身国・地域別、進学コース、一般コース別等を勘案し、それらに比例する人数を対象者として選定し、調査票（無記名）を配布し、回収した。

4.調査対象人数 3,750 人

5.調査実施時期 平成 21 年 11 月（隔年ごとの調査）

6.前回の調査 平成 19 年 11 月

## .調査結果

### 1. アンケートの回答状況 (第1～第3表)

日本語教育機関の学生 3,750 人にアンケート用紙を送付し、3,452 人から回答を得た。(回答率 92.1%)

なお、各表の( )内の数値は、前回調査時のものである。

回答者の性別を見ると、男性 1,688 人(48.9%)、女性 1,758 人(50.9%)で、男女の割合は、前回との変化はほとんど見られない。

年齢別では、「20～24歳」2,214人(64.1%)と、「25～29歳」831人(24.1%)で、全体の約9割(88.2%)を占めている。平均年齢は、23.2歳となっており、前回と比べ、0.3歳低くなっている。

出身国・地域別に多い順で見ると、中国 2,078人(60.2%)、韓国 606人(17.6%)、台湾 196人(5.7%)となっており、この上位3か国・地域で全体の約8割(83.4%)を占めている。

第1表 性別の回答者数

区分	男性	女性	不明	計
人数 (人)	1,688	1,758	6	3,452
率 (%)	(47.2) 48.9	(51.7) 50.9	(1.1) 0.2	100.0

第2表 年齢区別の回答者数「平均年齢 23.2歳(23.5歳)」

区分	18歳未満	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	不明	計
人数 (人)	2	241	2,214	831	122	28	14	3,452
率 (%)	(0.2) 0.1	(6.6) 7.0	(58.7) 64.1	(29.1) 24.1	(4.0) 3.5	(1.1) 0.8	(0.3) 0.4	100.0

第3表 出身国・地域別の回答者数

区分	中国	韓国	台湾	ベトナム	タイ	ネパール	インドネシア	ミャンマー	マレーシア	スウェーデン
人数 (人)	2,078	606	196	85	74	73	29	41	18	17
率 (%)	(48.7) 60.2	(26.1) 17.6	(6.6) 5.7	(2.8) 2.5	(2.5) 2.1	(2.3) 2.1	(1.3) 0.8	(1.2) 1.2	(0.6) 0.5	(0.6) 0.5

  

区分	アメリカ	サウジアラビア	モンゴル	バングラデシュ	イギリス	スリランカ	フィリピン	インド	イタリア	フランス
人数 (人)	23	3	28	10	6	21	17	10	10	7
率 (%)	(0.4) 0.7	(-) 0.1	(0.6) 0.8	(1.0) 0.3	(0.0) 0.2	(1.1) 0.6	(0.5) 0.5	(0.7) 0.3	(0.3) 0.3	(0.1) 0.2

  

区分	ロシア	シンガポール	スペイン	カンボジア	カナダ	オーストラリア	その他	不明	合計
人数 (人)	15	9	5	2	11	4	41	13	3,452
率 (%)	(0.3) 0.4	(0.2) 0.3	(0.0) 0.1	(-) 0.1	(0.2) 0.3	(0.0) 0.1	(1.1) 1.2	(0.3) 0.4	100.0



## 2.現在通っている学校（第4及び第5表）

進学コースでは8割弱、一般コースでは2割強の者が学習している。

これをコースごとの修業期間別に見ると、進学コースでは2,606人のうち、「1年」が318人（9.2%・前回9.9%）、「1年6か月」が763人（22.1%・前回22.5%）、「2年」が1,206人（35.0%・前回35.3%）となっている。

通学校の認知方法（複数回答）では、「在日の親族・知人などの紹介」が921人（26.7%）と最も多く、次いで「就学生派遣センター・留学院等」の490人（14.2%）、「インターネットで」の450人（13.0%）、「出身校の教師・先輩等の紹介」の372人（10.8%）の順となっている。

第4表 コース別修業期間

区分	進学コース						一般コース						不明	合計
	1年	1年 3か月	1年 6か月	1年 9か月	2年	小計	1年	1年 3か月	1年 6か月	1年 9か月	2年	小計		
人数 (人)	318	129	763	190	1,206	2,606	245	36	208	35	253	777	69	3,452
率 (%)	(9.9) 9.2	(3.5) 3.7	(22.5) 22.1	(4.4) 5.5	(35.3) 35.0	(75.6) 75.5	(8.4) 7.1	(1.0) 1.1	(4.3) 6.0	(1.5) 1.0	(7.6) 7.3	(22.7) 22.5	(1.7) 2.0	100.0

第5表 学校の認知方法（複数回答）

区分	日本語教 育機関要 覧	通学校の 募集説明 会・募集 案内	日本留学 フェア	新聞・雑 誌の広告	通学校の 卒業生・ 在校生か らの紹介	就学生派 遣セン ター・留 学院等	在日の親 族・知人 等の紹介	出身校の 教師・先 輩等の紹 介	企業から の紹介	インター ネットで	その他	不明
人数 (人)	199	275	120	60	346	490	921	372	338	450	180	30
率 (%)	(6.5) 5.8	(8.2) 8.0	(3.8) 3.5	(2.7) 1.7	(11.5) 10.0	(18.7) 14.2	(29.6) 26.7	(11.0) 10.8	(6.8) 9.8	(-) 13.0	(8.0) 5.2	(0.6) 0.9

## 3.来日前の日本語の勉強状況及び卒業後の進路（第6～第9表）

来日前の日本語の勉強方法（複数回答）は、「母国の日本語学校」1,703人（49.3%）と「大学等」639人（18.5%）で全体の6割強に達している。これに対して「特に勉強したことはない」が456人（13.2%）となっている。

勉強した者の勉強期間は、「6か月未満」1,115人（37.4%）、「6か月～1年未満」650人（21.8%）となっており、1年未満の者が全体の6割を占めている。1年以上の者を見ると、「1～2年未満」531人（17.8%）、「2～3年未満」251人（8.4%）、「3年以上」348人（11.7%）となっている。

第6表 来日前の日本語の勉強方法（複数回答）

区分	母国の日 本語学校	中学校等	高等学校 等	大学等	テレビ・ ラジオ等	特に勉強 したこと はない	その他	不明
人数 (人)	1,703	66	302	639	190	456	355	14
率 (%)	(47.9) 49.3	(2.3) 1.9	(9.5) 8.7	(16.2) 18.5	(5.0) 5.5	(15.6) 13.2	(10.3) 10.3	(0.2) 0.4

第7表 来日前の日本語の勉強期間

区分	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年以上	不明	計
人数 (人)	1,115	650	531	251	348	87	2,982
率 (%)	(39.4) 37.4	(21.6) 21.8	(15.3) 17.8	(8.7) 8.4	(12.0) 11.7	(2.9) 2.9	100.0

日本に来てからの期間を見ると、「1年未満」が1,237人(35.8%・前回33.8%)、「1年～1年半未満」が1,176人(34.1%・前回32.8%)、「1年半～2年未満」が958人(27.8%・前回30.3%)、「その他」が65人(1.9%・前回2.1%)であった。

日本語教育機関卒業後の進路については、全体の8割強にあたる、3,004人(87.0%)が進学を希望しており、全体の5割弱の1,668人(48.3%)が「大学」を進学先に予定している。

第8表 日本に来てからの期間

区分	1年未満	1年～1年半未満	1年半～2年未満	その他	不明	計
人数 (人)	1,237	1,176	958	65	16	3,452
率 (%)	(33.8) 35.8	(32.8) 34.1	(30.3) 27.8	(2.1) 1.9	(1.1) 0.5	100.0

第9表 日本語学校卒業後の進路希望

区分	日本の大学(学部)に進学	日本の大学院に進学	日本の短期大学に進学	日本の専門学校に進学	進学を希望するが進学先をきめていない	母国に帰国	その他	不明	計
人数 (人)	1,668	523	25	676	112	310	131	7	3,452
率 (%)	(45.2) 48.3	(10.7) 15.2	(0.8) 0.7	(23.7) 19.6	(3.5) 3.2	(12.5) 9.0	(3.2) 3.8	(0.2) 0.2	100.0

#### 4.住居(第10～第13表)

現住所について都道府県別にみると、4割の1,381人(40.0%)が「東京」に住んでおり、次いで「福岡」270人(7.8%)、「大阪」240人(7.0%)、「神奈川」207人(6.0%)となっている。

ブロック別でも、東京を中心とする関東ブロックに集中しているのは前回と同様である。

第 10-1 表 現在の居住地（都道府県別）

区分	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉
人数 (人)	46	1	9	78	0	0	8	10	19	18	196
率 (%)	(1.1) 1.3	(0.0) 0.0	(0.3) 0.3	(1.9) 2.3	(-) -	(0.1) -	(0.2) 0.2	(0.3) 0.3	(0.8) 0.6	(0.7) 0.5	(5.2) 5.7

  

区分	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡
人数 (人)	128	1,381	207	14	15	7	4	14	33	23	76
率 (%)	(3.4) 3.7	(42.2) 40.0	(6.3) 6.0	(0.2) 0.4	(0.5) 0.4	(0.2) 0.2	(0.1) 0.1	(0.2) 0.4	(0.8) 1.0	(0.4) 0.7	(2.6) 2.2

  

区分	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山
人数 (人)	127	15	1	93	240	162	10	2	0	1	62
率 (%)	(3.6) 3.7	(0.2) 0.4	(0.1) 0.0	(3.1) 2.7	(7.9) 7.0	(4.0) 4.7	(0.2) 0.3	(0.3) 0.1	(0.0) -	(-) 0.0	(1.5) 1.8

  

区分	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分
人数 (人)	45	19	0	10	0	0	270	19	17	16	12
率 (%)	(1.0) 1.3	(0.1) 0.6	(0.2) -	(0.2) 0.3	(-) -	(-) -	(7.6) 7.8	(0.3) 0.6	(0.3) 0.5	(0.4) 0.5	(0.2) 0.3

  

区分	宮崎	鹿児島	沖縄	不明	計
人数 (人)	1	0	34	9	3,452
率 (%)	(0.0) 0.0	(0.1) -	(1.0) 1.0	(0.3) 0.3	100.0

第 10-2 表 現在の居住地（ブロック別）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	不明	東京	計
人数 (人)	46	96	1,959	328	508	127	10	369	9	1,381	3,452
率 (%)	(1.1) 1.3%	(2.5) 2.8%	(58.8) 56.7%	(8.8) 9.5%	(15.6) 14.7%	(2.6) 3.7%	(0.4) 0.3%	(9.9) 10.7%	(0.3) 0.3%	(42.2) 40.0%	100.0

住居の種類では「民間アパート・マンション等」に住んでいる者が 2,152 人（62.3%）で最も多く、以下、「日本語学校の寄宿舍・寮」が 763 人（22.1%）、「友人・知人宅」218 人（6.3%）となっている。

入居時に家賃以外（敷金・礼金等）を 8 割強の者が支払っており、その平均支払金額は 79,657 円（前回 89,257 円）となっていて、前回より 9,600 円の減になっている。

部屋の広さについては、一人当たりの専有面積が 10 m<sup>2</sup>（6 畳 1 部屋程度）未満の者が 1,906 人（55.2%・前回 57.3%）と全体の 6 割弱を占めている。10 m<sup>2</sup>～20 m<sup>2</sup>未満では、1,099 人、20 m<sup>2</sup>以上では 400 人となっている。

第 11 表 住居の種類

区分	民間ア パート・ マンシ ョン等	日本語学 校の寄宿 舎・寮	県・市・ 財団法人 等の就・ 留学生宿 舎	公営住宅 等の一般 的宿舍	企業の社 員寮	友人・知 人宅	その他	不明	合計
人数 (人)	2,152	763	83	80	48	218	89	19	3,452
率 (%)	(62.3) 62.3	(21.4) 22.1	(2.4) 2.4	(2.2) 2.3	(1.3) 1.4	(7.7) 6.3	(2.3) 2.6	(0.4) 0.6	100.0

第 12 表 入居時の家賃以外の経費

区分	なし	5万円未満	5万円～10万円未満	10万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円～40万円未満	40万円～50万円未満	50万円以上	不明	計	平均(円)
人数(人)	519	1,513	983	275	84	27	15	7	29	3,452	(89,257)
率(%)	(16.8)	(43.0)	(18.3)	(15.8)	(3.6)	(0.8)	(0.6)	(0.5)	(0.6)	100.0	79,657
	15.0	43.8	28.5	8.0	2.4	0.8	0.4	0.2	0.8		

第 13 表 部屋の広さ

区分	5㎡未満	5㎡～7.5㎡未満	7.5㎡～10㎡未満	10㎡～12.5㎡未満	12.5㎡～15㎡未満	15㎡～17.5㎡未満	17.5㎡～20㎡未満	20㎡～25㎡未満	25㎡～30㎡未満	30㎡以上	不明	計
人数(人)	293	628	985	365	286	200	248	210	81	109	47	3,452
率(%)	(8.1)	(18.4)	(30.7)	(12.5)	(8.5)	(4.6)	(5.7)	(4.4)	(2.3)	(3.0)	(1.8)	100.0
	8.5	18.2	28.5	10.6	8.3	5.8	7.2	6.1	2.3	3.2	1.4	

## 5.収入・支出(第 14 及び第 15 表)

1か月の収入の平均額は、131,006円(前回134,713円)、支出平均額は、126,274円(前回130,774円)である。

収入の種類別及び平均月額回答数の多い順に、「アルバイト」収入がある者が2,441人(70.7%)で82,937円、前回より率で2.9ポイント減少し、平均月額は4,261円少なくなった。「親族からの仕送り」がある者が2,069人(59.9%)で、89,128円、前回より率で3.5ポイント下落したが、平均月額では6,705円多くなった。また「知人の援助」が226人(6.5%)で66,969円と、前回より率で1.0ポイント下落、平均額では、4,516円の増となっている。奨学金を受けている者は672人(19.5%)で前回より率で3.9ポイント増加となっている。

第 14 表 項目別収入の人数等(複数回答)

区分	親族からの仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他	計
人数(人)	2,069	2,441	672	226	24	96	
率(%)	(63.4)	(73.6)	(15.6)	(7.5)	(1.2)	(3.2)	
	59.9%	70.7%	19.5%	6.5%	0.7%	2.8%	
平均月額(円)	(82,423)	(87,198)	(53,504)	(62,453)	(164,516)	(100,613)	
	89,128	82,937	52,619	66,969	169,917	92,510	
1人当たり平均月額(円)	(52,282)	(64,189)	(8,331)	(4,701)	(2,021)	(3,189)	(134,713)
	53,474	58,652	10,247	4,870	1,184	2,579	131,006

(注)「平均月額」は、該当項目の収入のある者の平均

「一人当たり平均月額」は、該当項目の収入のない者も含めた回答者全体の一人当たりの平均

支出の内訳を金額で見ると、「学習費」(授業料含む)が69,738円(前回65,864円)と最も高く、ついで「住居費」が37,388円(前回37,315円)、「食費」が24,873円(前回26,036円)、「雑費」(衣服代、電話料金等日常的な経費)が11,353円(前回13,992円)、「趣味・娯楽費」が10,422円(前回10,968円)、「通学費」が9,772円(前回9,745円)、「光熱水費」が7,135円(前回7,580円)

円)の順となっている。

学習費の内訳をみると、「授業料」が54,553円、前回より4,077円高く、「教科書等」が5,489円、前回より500円低く、「サークル・合宿費」が9,696円、前回より297円高くなっている。

支出を居住地別に見ると、東京地区の平均金額が145,455円(前回148,162円)で、東京を含めて関東地区が140,635円(前回144,980円)となっている。

第15-1表 項目別支出の人数等

区分	学習費	通学費	食費	住居費	光熱水費	保険・医療費	趣味・娯楽費	雑費	計
人数(人)	2,601	1,545	3,089	2,893	2,589	2,479	2,249	2,662	
率(%)	(79.8) 75.3%	(48.2) 44.8%	(90.6) 89.5%	(83.5) 83.8%	(73.8) 75.0%	(66.8) 71.8%	(68.4) 65.2%	(81.7) 77.1%	
平均月額(円)	(65,864) 69,738	(9,745) 9,772	(26,036) 24,873	(37,315) 37,388	(7,580) 7,135	(3,199) 2,737	(10,968) 10,422	(13,992) 11,353	
1人当たり平均月額(円)	(44,673) 45,353	(4,695) 4,380	(23,581) 22,299	(31,165) 31,357	(5,592) 5,358	(2,137) 1,969	(7,500) 6,804	(11,431) 8,754	(130,774) 126,274

(注)「平均月額」は、該当項目の支出のある者の平均

「1人当たり平均月額」は、該当項目の支出のない者も含めた回答者全体の1人当たりの平均

第15-2表 学習費の内訳

区分	授業料	教科書等	サークル・合宿
人数(人)	2,601	1,668	526
率(%)	(79.8) 75.3%	(52.5) 48.3%	(13.5) 15.2%
平均月額(円)	(50,476) 54,553	(5,989) 5,489	(9,399) 9,696
1人当たり平均月額(円)	(40,257) 41,181	(3,147) 2,691	(1,270) 1,481

(注)「平均月額」は、該当項目の支出のある者の平均

「1人当たり平均月額」は、該当項目の支出のない者も含めた回答者全体の1人当たりの平均

第15-3表 居住地別の支出

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	平均
平均月額(円)	(124,536) 113,696	(105,051) 103,621	(144,980) 140,635	(123,298) 120,815	(126,444) 129,223	(122,108) 117,150	(122,667) 114,222	(111,776) 105,540	(148,162) 145,455	(135,054) 130,948

(注)「平均月額」は、該当項目の支出のある者の平均

第15-4表 居住地別の住居費

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	平均
平均月額(円)	(35,308) 30,436	(23,980) 23,488	(43,685) 44,088	(30,332) 30,679	(32,687) 33,946	(23,900) 19,660	(26,111) 24,625	(23,094) 23,486	(45,631) 46,641	(37,315) 37,388

(注)「平均月額」は、該当項目の支出のある者の平均

## 6. アルバイト（第16～第20表）

全体の約71%の2,447人が調査時点でアルバイトに従事しており、前回より2.5ポイント下降している。アルバイトの職種（複数回答）は、「飲食業」が1,462人と一番多く、従事者全体の59.7%（前回66.1%）を占めている。以下、「営業・販売」が351人（14.3%）、「配達・配送作業」が137人（5.6%）、「工場組立作業」が117人（4.8%）の順となっている。

第16表 アルバイトの従事

区分	している	していない	不明	計
人数 (人)	2,447	994	11	3,452
率 (%)	(73.4) 70.9	(26.2) 28.8	(0.4) 0.3	100.0

第17表 アルバイトの職種別従事者（複数回答）

区分	教師		事務	軽労働			
	語学教師	家庭教師	一般事務	ビル清掃・管理	配達・発送作業	飲食業	営業・販売
人数 (人)	81	17	50	102	137	1,462	351
率 (%)	(2.2) 3.3	(1.1) 0.7	(2.4) 2.0	(2.4) 4.2	(4.0) 5.6	(66.1) 59.7	(11.2) 14.3

区分	重労働				特殊技能			その他	不明
	土木・建設業	引越業	工場組立作業	倉庫整理	製図・トレース	理・美容	情報処理関連		
人数 (人)	3	5	117	35	3	2	10	154	23
率 (%)	(0.1) 0.1	(0.2) 0.2	(5.2) 4.8	(1.2) 1.4	(0.2) 0.1	(0.2) 0.1	(0.6) 0.4	(4.8) 6.3	(0.5) 0.9

1週間のアルバイト時間数は、全体平均で15.1時間（前回15.4時間）であり、その内訳は、「15時間～20時間未満」が最も多く1,041人（42.5%）次いで「20時間以上」が544人（22.2%）となっており、1週間のうち15時間以上働く者がアルバイト従事者全体の6割強の1,585人となっている。以下、「10～15時間未満」が398人（16.3%）、「5時間未満」が225人（9.2%）、「5～10時間未満」が218人（8.9%）となっている。

時給をみると、5割以上の1,420人が「800円～1,000円未満」であり、以下、「500円～800円未満」の518人（21.2%）、「1,000～1,200円未満」の395人（16.1%）の順で、全体平均では897円（前回928円）と平均時給が31円減少し、一週間当たりのアルバイト平均時間数は15.1時間で、0.3時間減少した。

なお、アルバイトをする理由としては、「日本での生活を維持するため」が1,455人（59.5%）と最も多く、次いで、「日本人との交流等良い経験になるから」が909人（37.1%）となっている。「教養・娯楽などの費用を得るため」は167人（6.8%）となっている。

第18表 1週間のアルバイト時間

区分	5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間以上	不明	計	平均(時間)
人数(人)	225	218	398	1,041	544	21	2,447	(15.4)
率(%)	(10.9) 9.2	(6.6) 8.9	(13.9) 16.3	(43.6) 42.5	(24.7) 22.2	(0.3) 0.9	100.0	15.1

第19表 アルバイトの時給

区分	500円未満	500円～800円未満	800円～1000円未満	1000円～1200円未満	1200円～1400円未満	1400円～1600円未満	1600円～1800円未満	1800円～2000円未満	2000円～3000円未満	3000円以上	不明	計	平均(円)
人数(人)	5	518	1,420	395	38	11	5	6	25	10	14	2,447	(928)
率(%)	(0.3) 0.2	(16.2) 21.2	(56.6) 58.0	(22.0) 16.1	(2.5) 1.6	(0.5) 0.4	(0.3) 0.2	(0.5) 0.2	(0.6) 1.0	(0.6) 1.0	(0.4) 0.4	0.6	897

第20表 アルバイトをする理由(複数回答)

区分	日本での生活を維持するため	教養・娯楽等の費用を得るため	日本人との交流等良い経験になるから	その他	不明
人数(人)	1,455	167	909	48	18
率(%)	(53.2) 59.5	(8.7) 6.8	(43.8) 37.1	(1.9) 2.0	(0.4) 0.7

## 7. 授業以外の勉強時間及び睡眠時間(第21及び第22表)

1日のうち授業以外に費やす勉強時間は全体平均で2.0時間(前回2.2時間)となっており、その内訳は、「1時間～2時間未満」が最も多く1,472人(42.6%)、次いで「2時間～4時間未満」が923人(26.7%)、「1時間未満」が733人(21.2%)、「4時間以上」が293人(8.5%)となっており、前回と比べ1日のうち授業以外に費やす勉強時間が減少している。

1日あたりの睡眠時間全体平均は6.4時間(前回7.1時間)となっており、その内訳でもっとも多いのが「6時間～7時間未満」で、1,246人(36.1%)、以下、「7時間～8時間未満」が868人(25.1%)、「5時間～6時間未満」が823人(23.8%)、「5時間未満」が249人(7.2%)、「8時間以上」が230人(6.7%)となっている。

第21表 1日の授業以外の勉強時間

区分	1時間未満	1時間～2時間	2時間～4時間	4時間以上	不明	計	平均(時間)
人数(人)	733	1,472	923	293	31	3,452	(2.2)
率(%)	(21.8) 21.2	(41.6) 42.6	(28.3) 26.7	(7.4) 8.5	(0.8) 0.9	100.0	2.0

第22表 1日の睡眠時間

区分	5時間未満	5時間～6時間未満	6時間～7時間未満	7時間～8時間未満	8時間以上	不明	計	平均(時間)
人数(人)	249	823	1,246	868	230	36	3,452	(7.1)
率(%)	(7.4) 7.2	(23.4) 23.8	(37.7) 36.1	(23.5) 25.1	(6.9) 6.7	(1.1) 1.0	100.0	6.4

## 8.健康(第23～第25表)

日本に来てから病気やけがの経験のある者は、2,296人と全体の約7割を占めている。主な処置方法としては、「薬局で薬を買って治した」が1,018人(29.5%)、「病院に通った」が914人(26.5%)である。

医療保険については、加入しているものが3,034人で87.9%(前回85.8%)である。保険料は「10,000円～20,000円未満」が1,516人(43.9%)で最も多く、以下、20,000円～30,000円未満」が487人(14.1%)、「1,000円～5,000円未満」が367人(10.6%)、「5,000円～10,000円未満」が332人(9.6%)の順になっている。

困ったときの相談相手として最も多かったのが、「友人・知人」の1,821人(52.8%)で、前回と比べ0.8ポイントの増となり、次いで、「親・兄弟姉妹」の999人(28.9%)で、1.4ポイントの増、「先生」の791人(22.9%)で、1.9ポイントの減、「その他」の175人(5.1%)で、0.3ポイントの増となっている。

第23表 日本での病気やけがの処置(複数回答)

区分	病気やけがをしたことがない	病気やけがをしたことがある	病院に入院した	病院に通った	学校の医務室・保健室に通った	薬局で薬を買って治した	病院等にはかからなかった	その他	不明
人数(人)	1,339	2,296	53	914	62	1,018	131	118	56
率(%)	(34.0) 38.8	(72.2) 66.5	(2.6) 1.5	(31.0) 26.5	(1.3) 1.8	(31.5) 29.5	(3.4) 3.8	(2.5) 3.4	(1.4) 1.6

第24表 医療保険の年間支払額

区分	加入していない	無料(0円)	1000円未満	1000円～5000円未満	5000円～10000円未満	10000円～20000円未満	20000円～30000円未満	30000円～40000円未満	40000円以上	不明	計	平均(円)
人数(人)	283	79	110	367	332	1,516	487	88	55	135	3,452	(12,972)
率(%)	(10.1) 8.2	(2.9) 2.3	(3.4) 3.2	(11.5) 10.6	(12.4) 9.6	(40.2) 43.9	(10.6) 14.1	(3.2) 2.5	(1.5) 1.6	(4.1) 3.9	(100.0) 100.0	14,408

第25表 困ったときの相談相手(複数回答)

区分	友人・知人	親・兄弟姉妹	先生	その他	不明
人数(人)	1,821	999	791	175	28
率(%)	(52.0) 52.8	(27.5) 28.9	(24.8) 22.9	(4.8) 5.1	(0.6) 0.8



平成 21 年度日本語教育機関学生生活実態調査

概 要

平成 22 年 3 月発行

編集・発行 財団法人 日本語教育振興協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 2 階

T E L (03)5304-7815

F A X (03)5304-7813

H P <http://www.nisshinkyō.org/>

©2010 年 <本書の一部または全部の無断複写、複製転載等を禁じます。>